



令和4年8月23日

## 札幌市立清田小学校の児童に向けた、社会科見学会を実施します

～災害時に活躍する災害対策用機械を見学し防災知識を学びます～

札幌開発建設部は、札幌市立清田小学校の特別支援学級の児童を対象に、災害対策用機械の社会科見学会を下記のとおり実施しますのでお知らせします。

### 記

今回、札幌市立清田小学校の特別支援学級の児童を対象に、自立活動に必要な学習の一環として、防災教育の観点から、災害対策用機械等を間近に見て体験し、より防災に興味を持つことにより、自立活動の一助にして頂くことを目的としています。

札幌開発建設部では、小学校特別支援学級の児童を対象とした災害対策用機械の見学会は今回が初となります。

- |        |  |
|--------|--|
| 1 日 時  | 8月31日（水） 14時00分～15時00分   |
| 2 場 所  | 北海道開発局月寒庁舎構内（札幌市豊平区月寒東2条8丁目3-1）<br>※詳細は別紙1をご参照ください。  |
| 3 対 象  | 札幌市立清田小学校 特別支援学級2年生～6年生 19名  |
| 4 取材関連 | 取材を希望される方は、別紙3により8月30日（火）12時までに<br>申し込み願います。当日は開催時刻10分前までにお越し願います。<br>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として「マスク着用<br>含む咳エチケット」や「手洗い」についてご協力をお願いします。<br>※今回の見学会の災害対策用機械等については、別紙2をご参照ください。 |

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

防災課 課 長 齊藤 仁史（電話番号 011-611-0306 ダイアルイン）

防災課 課長補佐 仲田 田（電話番号 011-611-0306 ダイアルイン）

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>







# 今回の見学会の災害対策用機械等 ※ドローンについては、デモンストレーション飛行を実施予定です

待機支援車



長期間の災害復旧作業に携わる人員の休息場所・簡易的な宿泊施設の確保など、主に災害復旧時の後方支援や災害復旧現場における指揮命令室等の確保を目的とした災害対策用機械です。

小形無人ヘリコプター、ドローン



小形無人ヘリは「移動操作車」とセットで派遣し、危険区域などでの被災状況の空撮映像を撮影し、迅速に被災調査を行います。また、ドローンも全道で多数保有しており、1班3名体制で飛行調査します。

照明車



夜間の災害現場における作業員の安全確保や、被災現場の監視を行う際の照明として使用します。  
災害時の排水機場・水門等の非常用電源としても使用可能です。

土のう造成機



土砂災害や浸水対策に使用する土のうを大量に作成することができる機械で、1時間当たり720袋の土のうを連続して供給することが可能です。履帯式で現場内の移動も容易です。

対策本部車



車両後部を拡幅して現地対策本部に必要なスペースを確保できます。  
各種の情報通信機器が搭載されており、場所を問わず情報収集・連絡が可能です。

排水ポンプ車



洪水時において、堤内にあふれた水を排除します。排水ポンプ、発動発電機、照明、クレーン装置等を搭載しており、ポンプ設置から排水作業までの作業を1台で行うことが可能です。(排水量は30m<sup>3</sup>/分、60m<sup>3</sup>/分)

取材申込票（社会科見学会）

FAX送信先：011-621-7050

札幌開発建設部 防災課長 齋藤 宛

報道機関名	
参加者氏名	
問合せ電話番号	
連絡事項	

※連絡事項欄には伝達事項等がありましたら、ご記載ください。